



Mint Club

ミントクラブ



造幣局

2005年日本国際博覧会記念貨幣と 中部国際空港開港記念貨幣の発行

平成17年3月から開催される2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博）及び同年2月に予定されている中部国際空港の開港を記念するための貨幣が発行されます。
概要は次のとおりです。

区分	2005年日本国際博覧会記念貨幣		中部国際空港開港記念貨幣	
額面	1万円	千円	5百円	5百円
素材・品位	金・純金	銀・純銀	ニッケル黄銅 銅72%、亜鉛20%、 ニッケル8%	銀・純銀
量目	15.6グラム	31.1グラム	7グラム	15.6グラム
直径	26ミリメートル	40ミリメートル	26.5ミリメートル	28ミリメートル
仕様	プルーフ	プルーフ	通常仕上げ	プルーフ
発行枚数	7万枚	7万枚	今後政令で決定	5万枚
その他	プレミアム型	プレミアム型	金融機関等の窓口において額面価格で引換え	プレミアム型

販売要領については、今後造幣局から発表いたします。

2005年日本国際博覧会記念貨幣（略称：愛知万博）

平成17年3月から開催



10,000円



1,000円



500円

中部国際空港開港記念貨幣

2005年2月開港予定



500円

販売要領については、今後造幣局から発表いたします。

造幣博物館

春号に続き、造幣博物館の1階展示室の史料を紹介します。

1. 日本人技術者 ②

明治の初め、造幣局に勤務した人々はわが国の近代化の先頭に立っているという気概を持っており、中にはお雇い外国人を驚かすような技術を持った人が多くいました。春号に続き技術者を紹介します。

① 久世喜弘 (くぜ のぶひろ。元大垣藩士。文政9(1826)年～明治15(1882)年)



化学・写真術・火薬などに詳しく慶応4(1868)年、京都の金座で外国貨幣やわが国の金銀貨幣などの分析・研究を行い、その結果、造幣局を設置し、純正画一な貨幣を製造する必要性を政府に説き、その実現に尽力する一方、明治2(1869)年3月、参議大隈重信とともに貨幣の形状は「円形」に統一し、十進法を採用するよう建議しました。その後、初代精製分析所長に就任し、明治11(1878)年に退官しました。

左の写真は、創業式の日に着色花火が打ち上げられ、同時に使用された花火筒に取付けられた飾りの「木彫りの龍」で、久世喜弘が作ったものです。

② 大野規周 (おおの のりちか。工作方技師。文政3(1820)年～明治19(1886)年)



旧幕府天文台機械技師の子息として生まれ、文久2(1862)年から6年間オランダに留学し、精密機械の製作技術を習得。明治2(1869)年に造幣局に奉職後、天秤をはじめ大時計や計数機などを製作し、その優秀な技術は首長であったキンドルも激賞したといわれており、明治19(1886)年に退官しました。なお、顕彰碑が大阪・桜宮神社の境内に建立されています。

2. お雇い外国人

明治初期における“文明開化”に外国人の果した役割は非常に大きなものがありました。造幣局においても創業期に在籍した多くの【お雇い外国人】の活躍

を見逃すことはできません。明治2(1869)年6月に、新政府と英國東洋銀行との間に『兌銀舗約定書』という条約が結ばれ、続いて10月には『附属覚書』が締結され、破格の厚遇で迎えられることになったお雇い外国人は、造幣首長キンドルはじめ延べ31名が雇用されました。

主なお雇い外国人について、今回と次号で紹介します。

① お雇い外国人



明治7(1874)年1月9日調べの給料、雇用期間など契約内容など一部を記載したお雇い外国人名簿と集合写真です。

② キンドル (イギリス人。造幣首長。58歳、月給1,045ドル)



明治2(1869)年2月に雇用された元大英帝国の陸軍少佐で、前香港造幣局長であった彼は、雷(サンドル)と渾名されたとおり気性の激しい性格の持ち主でした。創業期における造幣事業全般の指導にあたり、その功績は《大》でしたが、高額の給与を取っていたことなども加わり、造幣局幹部や職員との間に絶えず紛争を繰り返し、その紛争は造幣局の自主運営を目指す改革運動となる一方、本人に対する排斥運動まで発展したため、明治8(1875)年1月に退職しました。

③ ガウランド (イギリス人。化学兼冶金師、分析方。51歳、月給320ドルのちに630円)



明治5(1872)年10月に採用され、温厚な技術者として職員からの人望も厚く、明治21(1888)年10月に退職するまで長期間勤務しました。この間、英國式反射炉の築造と操業技術及び分析技術の指導にあたる一方、余暇には古墳の研究や地質調査を行う研究者として、また、日本アルプスの命名者として我が国の登山史にも名を残した人物で、政府から勲章や褒章が贈られています。

プロ野球誕生70年
2004 プルーフ貨幣セット

70th Anniversary of Nippon Professional Baseball
2004 Proof Coin Set



本年2004年は、日本にプロ野球が誕生して70年にあたることから、「プロ野球誕生70年2004プルーフ貨幣セット」を販売することとしました。平成16年銘の500円から1円まで計6枚のプルーフ貨幣と元読売巨人軍故沢村栄治選手及び元阪神タイガース故景浦将選手をデザインした銀製カラーメダルを特製革ケースに収納した貨幣セットです。セットを収納する紙ケースには現行12球団の優勝の記録写真とマスコットマークなどを配しています。

プロ野球ファンをはじめ、多くの皆様に永く記念としていただけるものと考えています。

お知らせ

「2004年 プロ野球リーグ優勝貨幣セット」としてセ・リーグ優勝チームとパ・リーグ優勝チームの2種類の貨幣セットを、今年も計画しています。

お買い忘れ・まだお求め頂いていない方に

「2003/パシフィックリーグ優勝記念福岡ダイエーホークス貨幣セット」の在庫がありますのでご案内いたします。

ご希望の方は数量を明記のうえはがきにてお申込み願います。

価格は、1セット当たり2,300円（送料・税込み）です。

なお、数量に限りがありますので、申し込みしていただいた方全員に購入していただくことができない場合もありますので予めご承知おき願います。

申込先は

〒 530-0043 大阪市北区天満1-1-79 造幣局 貨幣セット係
はがきの裏面に貨幣セット名（ダイエーホークス貨幣セット）と数量を記載して下さい。

お申込みは、7月14日（水）までの必着でお願いします。

造幣博物館所蔵・外國章牌紹介 9



A | B

A. オオストリア大公女ヨアンナ・ガブリエレ
追悼牌、表。ワイン造幣局製。錫と鉛の合金。
直径40.5mm。重量22g。ヨアンナ・ガブリエ
レの右向上半身肖像。周縁部にラテン語
で「IOANNA GABR. ARCHID. AVSTR.
(オオストリア大公女ヨアンナ・ガブリエル)」の
文字。肖像の下に「A·WIDEMAN」の署名。
引締って可憐な美しい肖像彫刻である。

オオストリア女帝マリア・テレジアは夫である
神聖ローマ皇帝フランツ一世との間に十
六人の子をもうけたが育ったのは十二人であ
った。昔は乳幼児の死亡率は高かったし天
然痘等の傳染病を防ぐ事が出来なかつたか
らである。

五番目の大公女ヨアンナ・ガブリエレは既
に子供の時からナポリ・シチリア王國の皇
太子フェルディナンド（後のフェルディナンド四世）
との結婚が決められてゐたが天然痘のため
十三歳で死去したのである。それで六番目
の大公女マリア・ヨゼファがフェルディナンドと結
婚する事に定められたが彼女も又天然痘の
爲十六歳で死んだ。結局七番目の大公女マ
リア・カロリニネがフェルディナンド四世の王妃
となったのである。

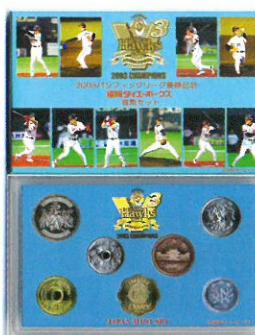
B. 全左、裏。星を散嵌めた布を被いた女が鷺
の背に乗って天に昇って行く。周縁部にラテ
ン語で「SIDERIBVS RECEPTA XXIII.
DEC. MDCCLXII(千七百六十二年十二月
二十三日、召されて天の星となる)」の文字。
下部の弦月形部にラテン語で「NATA IV
FEB MDCCL(千七百五十年二月四日誕生)」
の文字。なほ鷺はハプスブルク家の紋章でも
ある。

ヨアンナ・ガブリエレ大公女の死後ワイン
の王宮では長期間弔慰の儀式が行はれた。

原型彫刻のAnton Widemanはボヘミアから
ワインに出て来た人で、ワイン造幣局附
屬メダル美術學校長だったMatthäus
Donnerに師事し、マリア・テレジアの時代にウ
ィン造幣局で仕事をしてゐた彫刻家である。
此の章牌の彫りは精彩があって見事であり小
さいが秀作であり且つ非常に珍らしい章牌で
ある。

（元工藝管理官 松岡隆範 記）

（本稿は、筆者の意向を尊重して筆者の表記をそのまま掲載しています。）



「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」貨幣セット 人形浄瑠璃文楽

造幣局では、人形浄瑠璃文楽がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）によって「人類の口承及び無形遺産の傑作」として宣言されたことから、これを記念した貨幣セットの販売を行います。多くの皆さんに日本の伝統芸能である文楽を楽しんでいただくため国立文楽劇場のご協力をいただき、文楽の一部を紹介させていただきます。



文楽の楽しみ

“文楽”それはいまでもなく、わが国の伝統的な人形劇であり、世界に誇りうる高度な舞台芸術の名称です。文楽というのはもともと、この人形劇を上演する劇場の名前だったのですが、いつの間にか芸能そのものをさすようになり、現在では正式の名称として使われています。

“文楽”が、この名で呼ばれるようになったのは、明治の終わりごろ以降で、それまでは“操り浄瑠璃芝居”あるいは“人形浄瑠璃”といいました。つまり、浄瑠璃にあわせて演じる操り、すなわち人形芝居という意味です。そして、文楽が世界に誇れる芸術である理由も、地の音楽の“浄瑠璃”と独特の人形操法、一体の人形を三人がかりで動かす“三人遣い”的様式に帰します。



およそ世界に人形劇の種類は数えきれないほど存在します。その各々が、それぞれの民族の伝統を受け継いできた誇りと特徴を備えています。しかし、それらはほとんどすべてが単純な内容の神話やお伽話を扱ったものです。文楽のように一日がかりのシリアスな長いドラマを展開するものはありません。

さらに、今一つの特徴は、他の人形劇では人形を操作する人の姿を観客から隠すための工夫が凝らされているのに対して、文楽では人形遣いが堂々と観客の前に登場します。しかも、ときには肩衣をつけた正装であらわれるのです。世界のほかの人形劇とまったく対照的な二つの特徴こそ、文楽が最も高度に発達した人形芸術である証拠といえましょう。

文楽の舞台をささえる二本の柱、浄瑠璃と人形のうち、浄瑠璃である義太夫節は、人形劇の地の音楽として育ちました。本来は感情のない木でできた人形にいかにして生命を吹き込むか、というのが義太夫節の使命です。

文楽においては、登場人物のすべてのセリフだけではなく、その場の情景から事件の背景の説明までを太夫ひとりでやってのけるのです。

義太夫節は、単に事件を描写したり歌ったりするのではなく、人情の機微を語り生かすことを

第一義としています。そこに表現されたものは、表面は封建制や儒教精神に規制された古めかしい形に見えても、人間本来の姿を鋭くえぐり出しています。それなればこそ、文楽が現代の若い人たちにも感銘を与える力を持っているのです。

太夫の語りが、音楽性よりも物語の内容の表現に重点を置くのと同じように、三味線もまた曲の心をこめて太夫の語りを助けることが大事です。

三味線には、太棹、中棹、細棹があります。太棹が一番大きくて音も低いため、腹から声を出す義太夫の三味線に適しています。義太夫節の三味線は、他の音楽の伴奏とはちがって“心を弾く”ことを大切にします。

文楽人形の最大の特徴は、一体の人形を三人で操るという、世界に類のない様式にあります。

三人遣いは“主遣い（おもづかい）”が左手で首（かしら）の胴串（どぐし）を握って人形全体をささえ、右手で人形の右手を操作。“左遣い（ひだりづかい）”が右手で人形の左手を遣い、“足遣い（あしづかい）”が両手で人形の両足を操るものですが、三人の気持ちと呼吸がぴたりとあわねば、人形の動きはばらばらになって、とても生きているように見えません。人形の修業はまず足からはじめ、ついで左、最後に主遣いとなるのが順序で、昔から「足10年、左10年」といわれるほど、長い修練を必要とします。

人形の楽しさは、人間のように自由に動き、生きているように見えることで、さらに人形ならではの美しい形を見せてくれるときでしょう。

もう一つの人形の魅力は役柄との完全な一致です。俳優の場合は、いくら名優でも年齢は隠しきれませんし、場合によってはまったく柄ちがいの役をもつとめねばなりません。しかし、人形では、少なくとも視覚的には矛盾するところは少しもないといえます。



さらに楽しいのは“ツメ”的活躍でしょう。ツメは端役に使う一人遣いの人形で、首も無難作につくられた粗朴な感じの顔つきをしていますが、舞台へ出るとがぜん生き生きとします。主役の人形よりひとまわり小さくて、引き立て役の効果も十分果たします。そしてそれこそ人間にはできないようなはなれ業も、なんの苦もなく演じてのけるのです。

文楽は、長い歴史の中で何度も存続を危ぶまれることもありましたが、その都度、これにたずさわる人々の努力によって危機を脱し、今日にいたりました。そして先人たちの知恵と工夫の積み重ねが、今日の高い芸術性を築きあげたのです。

文楽といえばお年寄りの楽しみ、と思いがちですが、最近ではジーパンをはいた学生の姿が客席で目立つようになりました。浄瑠璃に感動し、人形の表情の豊かさに魅せられて、文楽技芸員を志し国立文楽劇場の研修生となる若者も毎年増えてきています。

古い伝統と、これらの若い力とが、文楽の将来を保証していくことでしょう。

（国立文楽劇場事業課編集「文楽 一鑑賞のためにー」より抜粋）

当局では、本件を記念して勲章製造技術を駆使した「人形浄瑠璃文楽」七宝章牌を販売することといたしました。

お申込み等の内容につきましては、ミントクラブ（冬号）でお知らせいたします。

平成16年7月～9月の貨幣セット販売予定

販売区分	名 称	販売予定価格	備 考
通信販売	ミントセット		受付時にDMでお知らせします。
	キャラクターメダル入りブルーフ貨幣セット		
	キャラクターミント		
通年販売	ジャパンコインセット	2,000円	造幣局構内及び関西国際空港内コインショップで販売中
	ペーパーウェイト	4,000円	
	記念日貨幣セット	2,100円	
	記念日貨幣セット(録音機能付)	3,000円	

平成16年銘桜の通り抜け貨幣セット販売のご案内



桜の通り抜け貨幣セットは、行事用貨幣セットとして毎年通り抜け期間中に会場において販売させて頂いているのですが、在庫がありますのでご案内いたします。

ご希望の方は（お一人様1セット）はがきにてお申込み願います。

価格は、1セット当り1,900円（税込み）、送料は別途必要です。

なお、数量に限りがありますので、申し込みしていただいた方全員に購入していただくことができない場合もありますので予めご承知おき願います。

申込先は

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79 造幣局貨幣セット係
はがきの裏面に貨幣セット名（平成16年銘桜の通り抜け貨幣セット）を記載して下さい。
お申込みは、7月14日（水）までの必着でお願いします。

送料

大阪府450円、東京都650円、北海道1,150円、東北750円、関東・信越600円
中部・北陸550円、関西500円、中国・四国550円、九州700円、沖縄 1,200円

COIN DESIGNING INNOVATION

THE MOST EXCELLENT WORK OF INTERNATIONAL COIN DESIGN COMPETITION 2003



メダル仕様

材質：純銀
直径：30 mm
重量：13.5 g
仕上：ブルーフライク仕上

ICDC2003メダルのご案内

ICDCとは、国際コイン・デザイン・コンペティションの略です。
このコンペティションは、国内のみならず広く海外から貨幣のデザインを募ることにより貨幣デザインの芸術性の向上を目指すために平成10年から開催しております。

国際コイン・デザイン・コンペティション2003には、一般部門に14カ国61作品、学生部門に3カ国4作品という多数の応募があり、その中から最優秀賞に選ばれたMrs. Anna Beata Wdrobska-Wdowiarska アンナ ベアタヴォントルブスカ ヴドヴィヤルスカ氏 (POLAND) の「偉大なポーランドの作曲家・指揮者誕生70周年記念日」をメダル化し販売することいたしました。

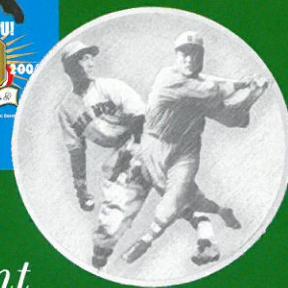
申込要領

- 同封の申込はがきに必要事項をご記入のうえお申ください。
後日、造幣局から払込用紙を送付いたします。
価格は4,000円（消費税・送料込）です。
- 入金されてから、製品をお届けできるまでに2ヶ月程度要する場合がありますので、予めご了承願います。
- お申込期間は、7月14日（水）まで必着でお願いします。

このミントクラブはエコマーク商品に認定された再生紙を使用しています



発行所 独立行政法人 造幣局
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号
電話 06(6351)6928
造幣局ホームページ <http://www.mint.go.jp/>
編集兼発行 事業部販売事業課顧客サービス室
平成16年6月25日発行(第9号)



Japan Mint